

世界から核兵器をなくそう！ヒバクシャの訴えを広げよう！

ヒバクシャ国際署名連絡会宮城

2019年
4月19日発行
ニュース No.11
<発行責任者>
ヒバクシャ国際署名連絡会宮城

3月16日(土) 連絡会宮城2周年記念行事を行いました

3月16日(土)午後、東京エレクトロンホール宮城 601 会議室にて、連絡会宮城の2周年講演会を行いました。

初めに、木村代表が開会のあいさつを行い、首長ポスターが完成したこと、米朝首脳会談がもの別れに終わり、ヒバクシャ国際署名をさらに広めていくことが大事であること、そして、ポスターを活用しながらこれからも取り組んでいく決意を述べました。

次に、村井宮城県知事と郡仙台市長からのメッセージの紹介を行いました。ポスターへの写真掲載にいち早くご協力いただいたお二人からのメッセージに、参加者のみんなが大変励まされました。

次に、松本事務局長が、連絡会宮城の2年間の取り組みや活動報告を写真や映像を使いながら行いました。



開会挨拶をする
木村緋紗子代表



講師の藤森俊希さん

続いて、記念講演を日本被団協の藤森俊希さんを講師に「核兵器のない世界のために」というテーマでお話していただきました。核兵器禁止条約の詳しい内容、特に男性と女性の平等にもふれていること、国連での女性達の活躍の様子、そして条約批准に向けて被爆者や市民、そして世界の国々がそれぞれに奮闘している様子を紹介してくださいました。また、2017年の条約採択に向けて国連会議で発言されたときの経緯もお聞きすることができました。世界各地で被爆者の皆さんが証言活動をしたり、国連で発言されたりしたことが大きく世界を動かしてきたのだと改めて感じました。

また参加者の皆様から8,181 円のカンパをいただきました。本当にありがとうございました。今後の連絡会宮城の活動等に活用させていただきます。終了後は、事務局メンバーを中心に藤森さんを囲んで懇親会を行いました。

<参加者からの感想>

- ・「女性と男性の双方による平等」が条約に入っていることは初めて知りました。「女性の核軍備撤廃への効果的な参加を支援し強化することを約束し…」とあります。核兵器廃絶へ、女性の力を発揮することが期待されているのだと思います。
- ・条約に「核兵器またはその他の核爆発装置を使用し、またはその使用による威嚇をすること」という条項が、最初に入っていなかったということを知りました。北朝鮮の核の脅威にさらされている今、この条項はとても大事だと私は思いました。現在、この条約の批准国が22ヶ国ということ、50ヶ国にはまだまだです。日本をはじめ世界の国々がこの条約に署名し批准国になることを願っています。



・1946年から2017年まで、長い道のりのやっとたどり着いた禁止条約、諦めずに続けてこられたこと、勉強不足だが今一度レジュメを読んでみたい。禁止条約へのスピーチの大切さ知ったが、サーローさんだけでなく藤森さんのスピーチの全文を知りたいと思いました。「女性の平等」をうたう文は新鮮というか、認識していなかったので勉強になった。署名行動の大切さを改めて感じた内容だった。ありがとうございました。また1年頑張りたい。

・藤森さんの勇気ある7分間のスピーチは、世界の人々に何らかの影響を与えたのではないのでしょうか。地道な活動ではありますが、これからも活動を続けていただきたいと思います。

署名は、「ヒバクシャ国際署名推進連絡会」のHPからネット署名もできます。
<https://hibakusha-appeal.net/>

スマホの方はこちらから



七戸 2019

*



<核兵器禁止条約 署名・批准の状況>

署名国 70ヶ国 批准は23ヶ国に！(2019年4月11日現在)、

*現在20近い国々が批准の準備を進めています。このペースでいくと、2019年中に、発効に必要な50ヶ国に達する見込みが出てきました。

<日本政府に核兵器禁止条約への批准を求める意見書採択>

2019年3月30日現在 373市町村(宮城県15自治体)、先月より14自治体増4県議会(岩手・長野・鳥取・沖縄) *宮城県でもめざしましょう！



ヒバクシャ国際署名連絡会宮城

署名数 (2019年3月末現在)

111,723筆

ヒバクシャ国際署名連絡会宮城の署名活動に参加する団体は35・個人は61。さらに増やしていきましょう。個人での参加もぜひ！

これからの活動

お知らせ

○今後の街頭宣伝

5月22日(水) 12:00~
平和ビル前

○署名連絡会宮城会議

5月22日(水) 14:00~

